

## 北郷の山あいに大輪の花火

8月18日、旧北郷小学校グラウンドで「北郷納涼祭」が開催されました。北郷地区に元氣とにぎわいを取り戻そうと、地区の有志が呼びかけ始まったイベントで、今年で6度目を迎え、約400人の観客でにぎわいました。

雨続きの天候も、当日は晴れ上がり、メンバーはコミュニティ助成事業により購入した「北郷」の法被で早朝から会場準備に汗を流しました。

夕方、納涼祭が始まると、同事業で新調された太鼓の拍子に合わせて老若男女が入り乱れ、やぐらの周りには二重三重の踊りの輪ができあがりました。また、出店には、地元ならではの100円均一の焼きそばや焼き肉、ちらし寿司などが並び、お客さんで大にぎわい。最後の花火大会では、間に迫る大輪の花火と、山にこだまする音に、観客全員が拍手喝采の大喜びでした。(関連記事2ページ)



## 映画「月の下まで」試写会

平成21年11月に黒潮町で撮影された映画「月の下まで」がこのほど完成し、8月25・26日、町内2カ所で試写会が行われました。

映画は、黒潮町佐賀でカツオ漁一筋に生きてきた主人公が、妻との離婚、母の死により、知的障がいのある息子と二人で生活することになり、衝突しながらも真剣に向き合っていく姿を描いた作品です。試写会は、ロケ地黒潮町への恩返しの意味を込めて入場無料で行われ、2日で約400人が来場。

上映中、佐賀漁港や土佐佐賀駅、大方高校など見慣れた風景がスクリーンに映し出されると、客席からはざわめきや反応がありました。終了後、奥村盛人監督から「16日間のロケの間、黒潮町の方には本当にお世話になったので、映画が完成したらまず皆さんに見ていただきたいと思いました。こんなにたくさん見に来てくれてうれしです。」とあいさつがありました。

今後は、この映画が高知や全国で上映されるよう働きかけていくとのこと。今回見逃した方も、またの機会にぜひご鑑賞ください。

## 佐賀地区でコスモスの種まき

町内の町づくりグループ「なぶら」(明神里寿会長)が、9月1日、伊与木川堤防などにコスモスの種をまきました。

「なぶら」は、町内各団体や町民約20人のグループで、町内の公施設へ花を植える「花いっぱい運動」のほか、「土佐さがのもりガッツオ祭」の共催、「自然体験学校」など、町の活性化に向けた活動をしています。

コスモスの種まき当日は、小雨が降るあいにくの空模様でしたが、集まった10人で、花壇を耕し、丁寧に種をまきました。

秋祭りの頃には、たくさんのお花が咲きそろうことを願っています。



水神坂の花壇に種をまき、鹿島の前で集合写真を撮る「なぶら」のメンバー。

## 黒潮若手の会が婚活イベント

8月25・26日、黒潮若手の会による「ある夏の出会い in 黒潮」黒潮町へ婚かエウ」が開催されました。町内人口の増加を目指すだけでなく、町の文化・産業・食を堪能してもらえよう企画。町内から男性9人、町外から女性8人が参加し、1泊2日のスケジュールで、塩作り見学・カツオの薫焼き体験・パークゴルフ・町内産品を使ったバーベキューなどを楽しみました。

最初は緊張気味だった参加者も、過密日程の中で徐々に距離を縮め、見事2組のカップルが誕生。今後、町内で結婚生活が始まり、子どもを育て、その子どももまた黒潮町で家庭を築く、そんなことになれば今回の企画も大成功と言えるのではないでしようか。

黒潮若手の会では、婚活イベントの第2弾もすでに企画。今後の活動にご期待ください。(黒潮若手の会)

